

千代田区 中小企業の景況【概要版】

～令和4年1月～3月期～

[回答事業所数の業種別内訳]

【発行】千代田区地域振興部商工観光課
 【調査機関】一般社団法人 東京都信用金庫協会
 【分析委託業者】株式会社 東京商工リサーチ

	有効回答事業所数
製造業	35
卸売業	52
小売業	27
サービス業	33
建設業	32
不動産業	31
業種計	210

判断表 業種別定点指標値(マークの基準は業況判断D1季節調整済修正値で判断)

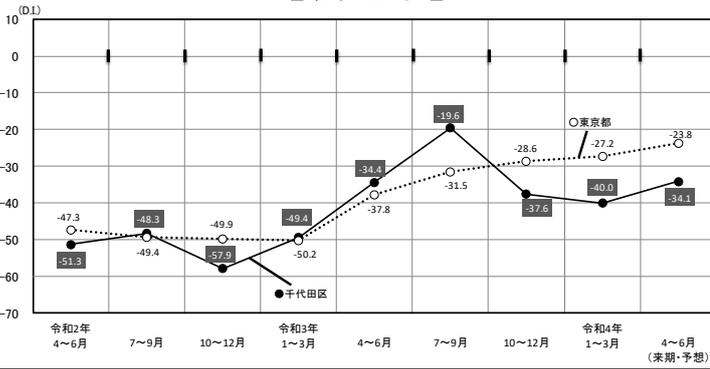
	A	B	C	D	E	F	G
製造業	20以上	19~10	9~0	-1~-10	-11~-20	-21~-30	-31以下
卸売業	20以上	19~10	9~0	-1~-10	-11~-20	-21~-30	-31以下
小売業	10以上	9~0	-1~-10	-11~-20	-21~-30	-31~-40	-41以下
サービス業	15以上	14~5	4~-5	-6~-15	-16~-25	-26~-35	-36以下
建設業	20以上	19~10	9~0	-1~-10	-11~-20	-21~-30	-31以下
不動産業	10以上	9~0	-1~-10	-11~-20	-21~-30	-31~-40	-41以下



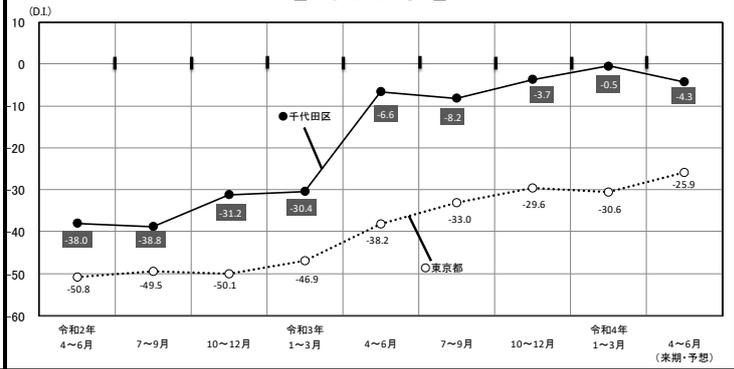
製造業	今期		G -40.0	業況は厳しい状況が続き、低調感がやや強まった。売上額は減少幅が大幅に拡大し、収益は減少がやや強まるなど、ともに減少傾向となった。価格面では、販売価格は下降がやや弱まったものの、原材料価格は上昇が大きく強まっており、在庫は過剰感がやや改善した。
	来期		G -34.1	来期の見通しについて、業況は厳しさがやや和らぎ、わずかに改善すると予想されている。売上額、収益はともに今期同様で推移し、厳しい状況が続く見通しである。
卸売業	今期		D -0.5	業況は厳しさがやや和らぎ、改善傾向が続いた。売上額は増加幅が大幅に拡大し、収益は減少から増加に転じており、ともに改善した。価格面では、販売価格、仕入価格ともに上昇が大きく強まっており、在庫は前期並の品薄が続いている。
	来期		D -4.3	来期の見通しについて、業況は低調感がやや強まり悪化すると予想されている。売上額は増加幅が大幅に縮小し、収益は増加から減少に転じ、ともに悪化する見通しである。
小売業	今期		E -24.9	業況は厳しさが大きく和らぎ、改善傾向が見られた。売上額、収益ともに減少幅が大幅に縮小し、厳しい状況ながらも改善した。価格面では、販売価格は下降がやや強まり、仕入価格は上昇から下降に転じ、在庫は不足感が大きく強まった。
	来期		E -28.1	来期の見通しについて、業況は低調感がやや強まり悪化すると予想されている。売上額は今期同様で推移し、収益は減少がやや弱まるものの、依然として厳しい状況となる見通しである。
サービス業	今期		E -23.5	業況は低調感が大きく強まり、悪化傾向が見られた。売上額は減少幅が極端に拡大し、収益は減少がやや強まり、ともに悪化した。価格面では、料金価格は上昇がやや強まり、材料価格は前期並となった。
	来期		D -8.3	来期の見通しについて、業況は厳しさが大きく和らぎ、改善すると予想されている。売上額は減少幅が大幅に縮小し、収益は減少がやや弱まり、厳しいながらも改善する見通しである。
建設業	今期		D -5.2	業況は厳しさがやや和らぎ、前期から改善した。売上額は減少幅が大幅に縮小し、収益は減少が大きく弱まり、ともに改善した。価格面では、請負価格は上昇から下降に転じ、材料価格は前期並となり、在庫は過剰から品薄へと転じた。
	来期		C 3.5	来期の見通しについて、業況は改善傾向が続き好転すると予想されている。売上額は減少幅がやや縮小し、収益は今期同様で推移する見通しである。
不動産業	今期		E -28.3	業況は低調感が大きく強まり、悪化が見られた。売上額は減少幅が極端に拡大し、収益は減少が大きく強まり、ともに大きく悪化する傾向が見られた。価格面では、販売価格は下降がやや弱まり、仕入価格は上昇が大きく強まり、在庫は不足感が極端に強まった。
	来期		D -17.8	来期の見通しについて、業況は厳しさが大きく和らぎ、改善すると予想されている。売上額、収益ともに減少幅が大幅に縮小し、改善する見通しである。

千代田区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測

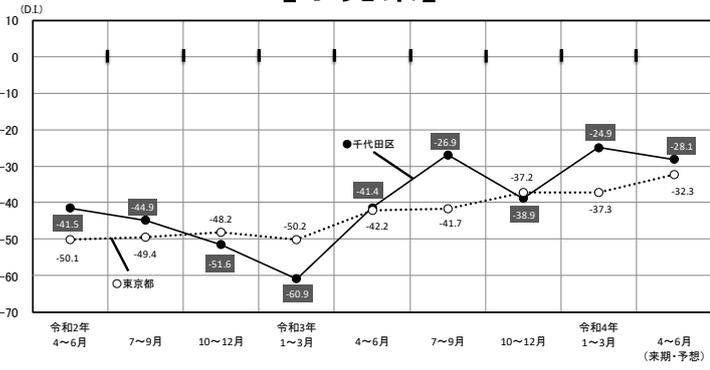
【製造業】



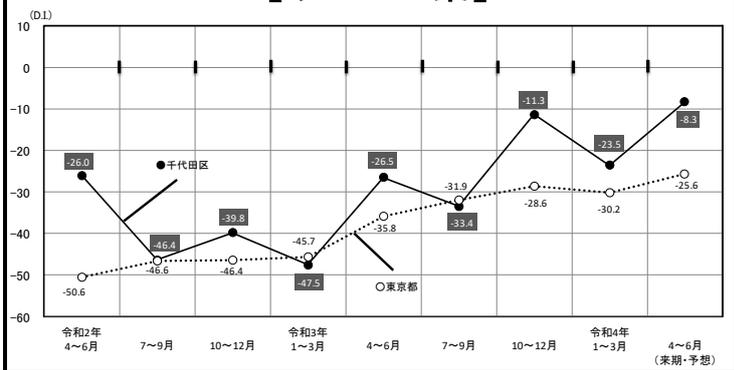
【卸売業】



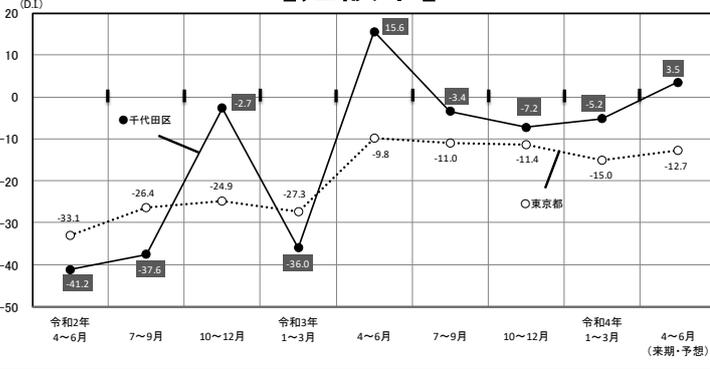
【小売業】



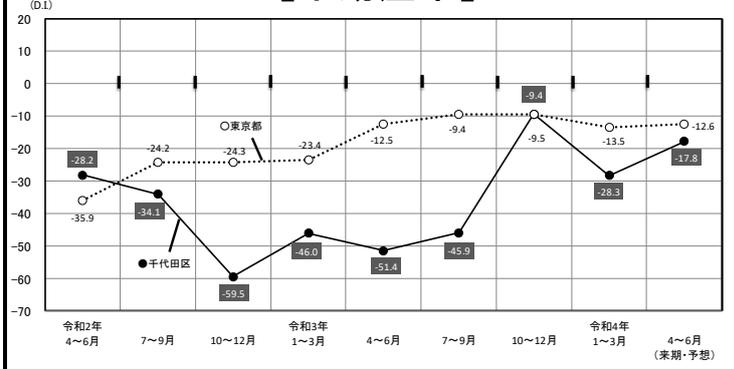
【サービス業】



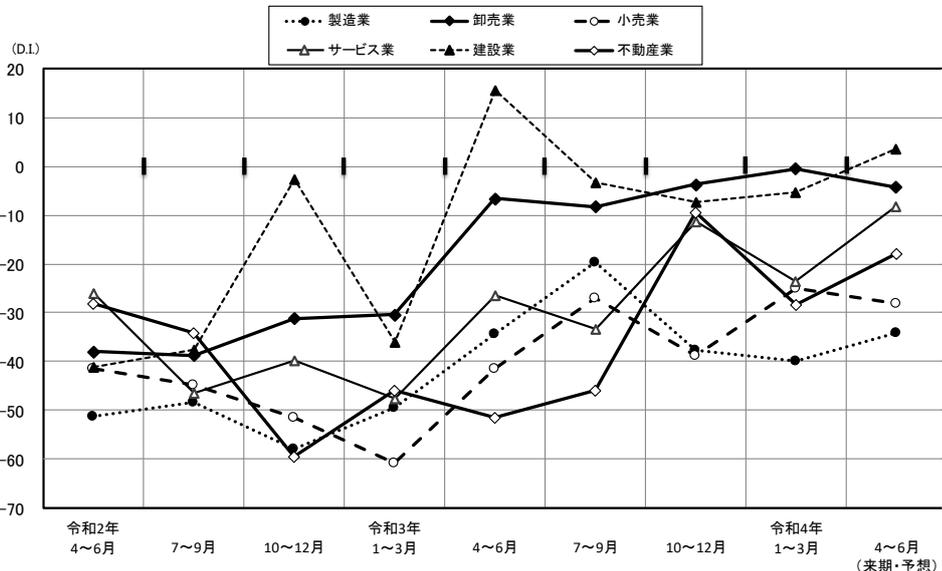
【建設業】



【不動産業】



【千代田区全業種】



千代田区 業種別 経営上の問題点

製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業	
売上の停滞・減少	57.1 %	売上の停滞・減少	51.9 %	売上の停滞・減少	51.9 %	売上の停滞・減少	51.5 %	材料価格の上昇	37.5 %	商品物件の高騰	45.2 %
同業者間の競争の激化	22.9 %	同業者間の競争の激化	28.8 %	同業者間の競争の激化	22.2 %	同業者間の競争の激化	21.2 %	同業者間の競争の激化	31.3 %	売上の停滞・減少	35.5 %
原材料高	20.0 %	仕入先からの値上げ要請	26.9 %	大型店との競争の激化		人手不足	18.2 %	人手不足	28.1 %	商品物件の不足	
利幅の縮小	17.1 %	販売商品の不足	15.4 %	取引先の減少	14.8 %	利幅の縮小	15.2 %	売上の停滞・減少	21.9 %	同業者間の競争の激化	19.4 %
大手企業との競争の激化	8.6 %	輸入品との競争の激化	13.5 %	仕入先からの値上げ要請	11.1 %	人件費の増加		大手企業との競争激化	18.8 %	利幅の縮小	
仕入先からの値上げ要請											

千代田区 業種別 重点経営施策

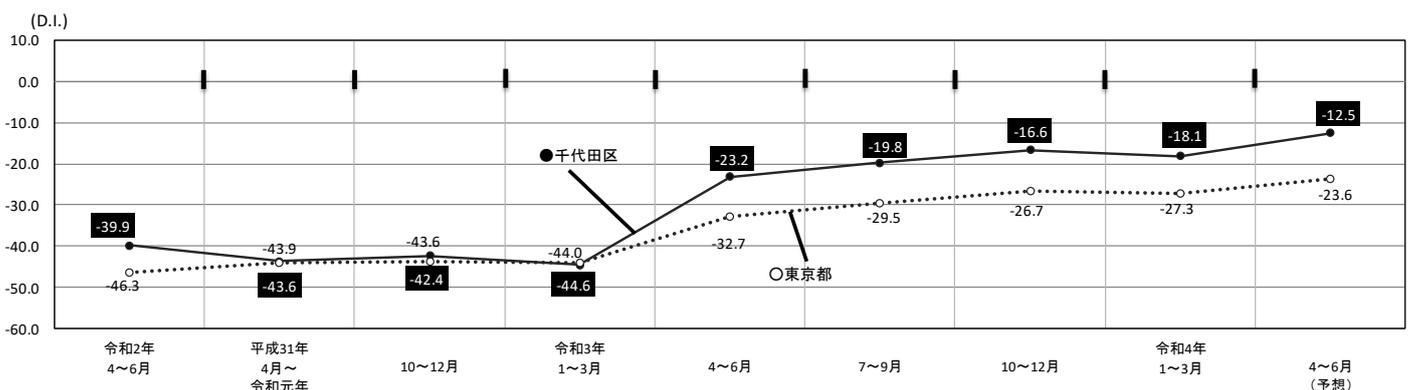
製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業	
販路を広げる	54.3 %	販路を広げる	61.5 %	経費を節減する	29.6 %	販路を広げる	63.6 %	販路を広げる	59.4 %	情報を強化する	41.9 %
経費を節減する	48.6 %	経費を節減する	40.4 %	宣伝・広告を強化する	18.5 %	経費を節減する	39.4 %	経費を節減する	43.8 %	販路を広げる	32.3 %
情報を強化する	22.9 %	提携先を見つける	19.2 %	品揃えを改善する	7.4 %	人材を確保する	33.3 %	技術力を高める	25.0 %	経費を節減する	19.4 %
新製品・技術を開発する	5.7 %	品揃えを充実する	17.3 %	新しい事業を始める		技術力を強化する	18.2 %	人材を確保する	21.9 %	宣伝・広告を強化する	12.9 %
提携先を見つける		人材を確保する	11.5 %	店舗・設備を改装する		提携先を見つける	12.1 %	情報を強化する	15.6 %	不動産の有効活用を図る	
		流通経路の見直しをする		仕入先を開拓・選別する							
				売れ筋商品を取り扱う							
				商店街事業を活性化させる							

千代田区と東京都の業況の動き

千代田区の今期の業況判断 D.I. (季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合) は-18.1 と前期 (令和3年10～12月) の-16.6 に比べ 1.5 ポイント減少し、前期並の低調感が続いた。

東京都の業況と比較すると、今期は千代田区が東京都を 9.2 ポイント上回った。業種別に比較すると、卸売業 (30.1 ポイント)、小売業 (12.4 ポイント) の 2 業種で、千代田区が東京都を 10 ポイント以上上回った。一方、不動産業 (-14.8 ポイント)、製造業 (-12.8 ポイント) の 2 業種では、千代田区が東京都を 10 ポイント以上下回った。

千代田区の来期 (令和4年4～6月) の業況見通しは-12.5 と、今期よりも 5.6 ポイント増加し、低調感がやや和らぐと予想されている。東京都の来期の業況見通しは-23.6 であり、比較すると千代田区が 11.1 ポイント上回り、今期並の差となる見込みである。



特別調査「原材料・仕入価格の上昇による中小企業への影響について」

注1. 本調査は、主に千代田区の状況について記載しています。グラフでは千代田区と東京都全体の比較をしています。
 注2. 回答により100%にならないこともあります。

本調査結果の特徴

- ① 原材料・仕入価格上昇による収益への影響
- ② 原材料・仕入価格の1年前との比較
- ③ 原材料・仕入価格上昇分の販売価格転嫁割合
- ④ 各種資材や製商品（量・質）の確保状況
- ⑤ 仕入先の見直し等を検討する際に重視する点

表1 原材料・仕入価格上昇による収益への影響

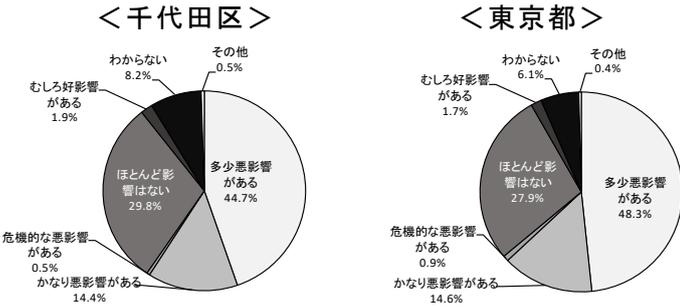


表2 原材料・仕入価格の1年前との比較

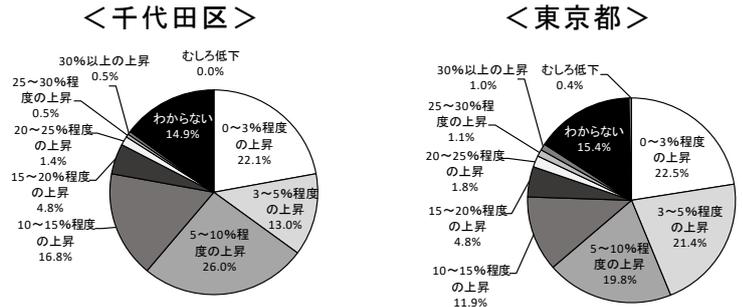


表3 原材料・仕入価格上昇分の販売価格転嫁割合

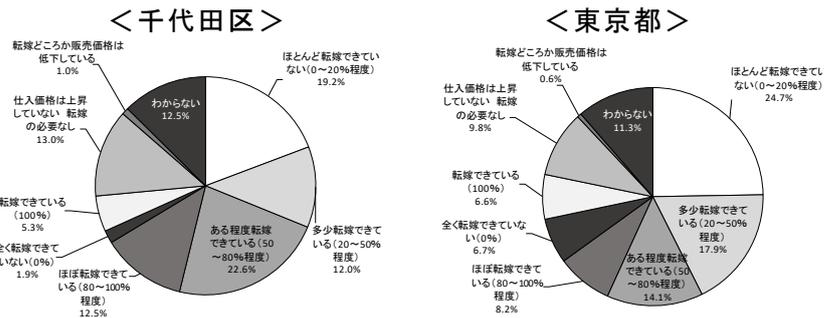


表4 各種資材や製商品（量・質）の確保状況

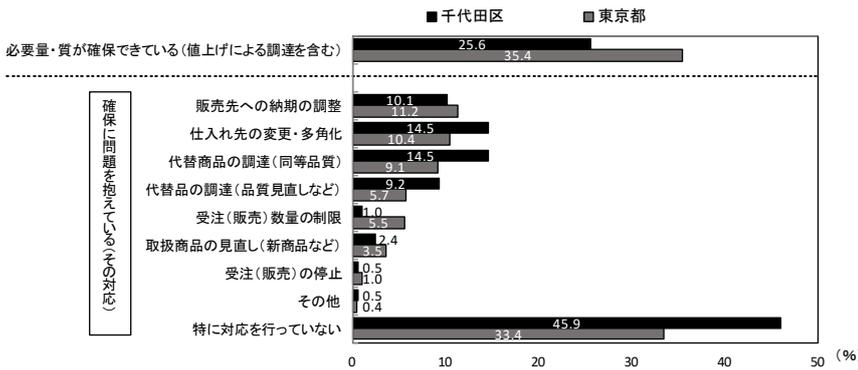


表5 仕入先の見直し等を検討する際に重視する点

